

令和7年度 授業エキスパートを目指す授業研究会 令和7年11月11日(火)

加須市立加須小学校

国語

単元名：「じゅんじょやまとまりに気を付けて読み、
つたえるためにわかりやすく書こう」
(「紙コップ花火の作り方／おもちゃの作り方を説明しよう」)



前時までの学習内容を適切に振り返り、必要なつなぎ言葉を確認してから、個別の活動を始めていた。



ICT を用いて作成した内容のまとまりごとのカードを操作しながら、自身のカードに必要なつなぎ言葉を組み合わせて、文章の構成を考えていた。

参会者アンケート等から

研究会のあり方・全体的な感想

【授業・協議・全体について】 ※一部文末等を編集しています。

○児童のICTの利用の仕方や、先生の児童への言葉掛け等、大変勉強になった。2年担任なので、この後同じ単元の学習をする際、学んだことを生かして授業を展開していくと思う。

○中学校の国語の土台となる文章の構成について、系統性を踏まえた授業を行っていて、小中の学習の繋がりを実感できた。

○系統性を意識した授業づくりや掲示、ICTの活用法など勉強になった。思考を整理して安心して書く活動ができるように、ICTとワークシートの活動の使い分けの方法を取り入れてみたいと思った。

○様々な観点から御意見を頂き、勉強になった。中学校の先生からも貴重な意見があり、系統性の大切さを、より感じた。



○各学校での取組を詳しく聞けたので、大変参考になった。改善案を出すときに「私の学校ではこうしています」等、先生方の工夫をたくさん聞けたので、明日からの指導に生かしたい。

○本日の研究会について、自分自身でまとめ直し、明日からの授業に生かしたり、自校の先生方にも情報提供したりしていきたい。

○指導者の先生の御指導がとてもためになった。これから、国語にどう向き合っていったらよいか答えが見つかった。

○指導者の先生のお話を受けて、話題にあがっていた、めあて、課題、まとめ、振り返りへの疑問点が解消された。今後も系統性を踏まえた授業を展開していくよう、日々研修に励んでいきたいと思う。



『私の授業の観てほしいポイント』に沿った研究協議



授業者からの説明・協議内容の発表

指導者からの御指導